

外来における在宅療養支援能力向上のための研修

講義（eラーニング）と演習（集合研修）を組み合わせた研修です

研修目的

- 外来看護職が講義及び演習によって、地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
- 習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実践することができる。

対 象

外来勤務の看護職員（勤務形態は問わない）

定員 約 20 名 * 応募多数の場合、各施設 1～2 名程度とします

受講方法

インターネットを利用した eラーニング講義を受講後、演習を受講します。

（演習受講には、eラーニング講義の修了が条件となります）

eラーニング：自己学習 演習：広島県看護協会での集合研修

受講日時等

【eラーニング受講期間】2025 年 11 月中旬～12 月中旬 * 詳細は受講決定者に別途通知

【演習】演習日時：2025 年 12 月 20 日（土）13:20～16:00

演習会場：広島県看護協会 （広島市中区広瀬北町 9-2）

受 講 料

会員：5,000 円（税込） 非会員：15,000 円（税込）

申込方法

申込み期間：9 月 1 日～9 月 10 日

看護管理者が施設毎に取りまとめ、本会ホームページからお申込みください。

本会 HP⇒研修一覧⇒2025 年度⇒12 月 研修No.202

【お問合せ先】広島県看護協会 看護生涯教育・研究センター
継続教育部 TEL：082-503-2381

外来における在宅療養支援能力向上のための研修

プログラム

●講義（eラーニング）

内容	時間
外来看護を取り巻く現状と課題 国の政策動向等に基づく外来看護職の役割	30 分
外来における在宅療養支援	45 分
在宅療養を支える地域連携とネットワーク	40 分
在宅療養患者（外来患者）の意思決定支援	40 分
在宅療養患者（外来患者）を支える社会資源	40 分

●事前課題

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記の①・②、または①・③について、各自がまとめる。（A4 1～2 枚程度） *** 演習当日に持参**

- ①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ②外来看護に関する実践事例
- ③外来における療養支援について自身が感じている課題

●演習 *** 演習受講にはeラーニング修了が条件です**

内容	
オリエンテーション	演習の意義・目的・流れ 等
講義	地域の現状や所属施設を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッションによる事例検討
全体共有	グループからの報告及び質疑応答・意見交換